



## 県政紹介パンフレット

# 誰もが希望を持ち活躍できる うるおいに満ちた埼玉

昨年度までの調査で  
いただいた御意見をもとに取組を進めています

### 「医療の体制づくり」の取組

いただいたご意見



「気軽に電話やSNSで相談できる窓口が欲しい」  
「救急電話相談がなかなかつながらない」

事業化  
します

### AIを活用した救急相談機能を整備します

より多くの相談に対応するため、従来の電話による相談に加え、AIを活用して、いつでも気軽に相談できるチャット形式の救急相談機能を整備※します。

※ 2019年7月より本格稼働予定



AIを活用した  
救急相談（イメージ）

他の分野の県の取組は紙面をご覧ください



埼玉県のマスコット  
「コバトン」&「さいたまっちゃん」

「県政紹介パンフレット」に関するお問い合わせは、こちらまで

埼玉県企画財政部計画調整課 評価担当  
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1  
電話：048-830-2413  
E-mail：a2130-03@pref.saitama.lg.jp

# 1. 安心して子供を産み育てることができる環境づくり

## きめ細かな少子化対策

現在子育てをしている世代だけでなく、これから結婚や出産を考える世代も含め、結婚から子育てまで切れ目ない支援を行っています。



### ■SAITAMA出会いサポートセンターの運営

出会いから結婚までを支援  
相性のいいお相手の紹介を  
AIがサポート



### ■若者の自立支援

### ■妊娠に関する知識や情報の提供

### ■子育て世代包括支援センターによる支援

妊娠から出産、子育てまで切れ目ない支援を行うセンターを設置・運営する市町村への支援

### ■ウェルカムベイビープロジェクト

不妊等に悩む夫婦  
への手厚い支援

○不妊や不育症の  
電話相談

○不妊治療・不育  
症検査の助成

### ■産後のこころのケア

産後うつ予防など  
母親をサポート

### ■乳児家庭全戸訪問

### ■子だくさん家庭の応援

子供3人以上の世帯  
への保育料軽減や住宅  
取得支援

### ■子育て応援のムーブメント

子育て世帯に商品  
の割引や特典を提供  
する「パパ・ママ応  
援ショップ」の拡大

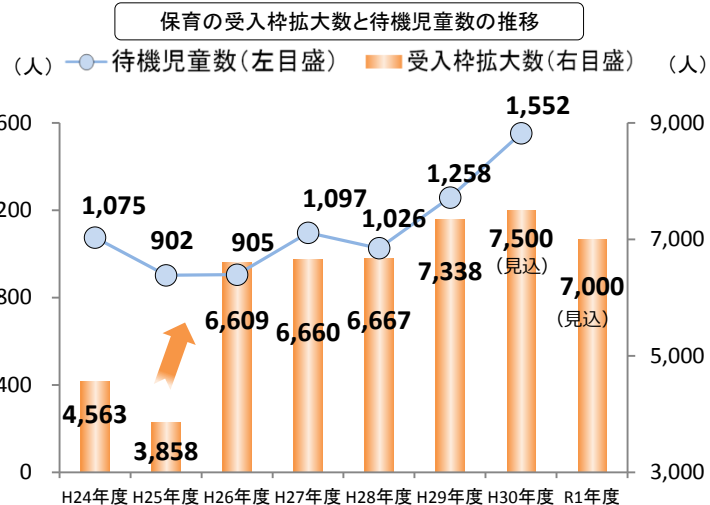
パパ・ママ応援ショップ数  
**全国1位** (H31.3末)  
(22,744事業所)

## 保育サービスの充実

毎年6千人を超える保育受入枠の拡大を行っています。保育ニーズの伸びが大きく、待機児童の解消に至っていません。

このため、保育所や認定こども園等の整備を進めています。

また、新卒保育士の就職・定着に向けた貸付制度を創設するなど、保育士の確保を進めているほか、保育の質向上を図っています。

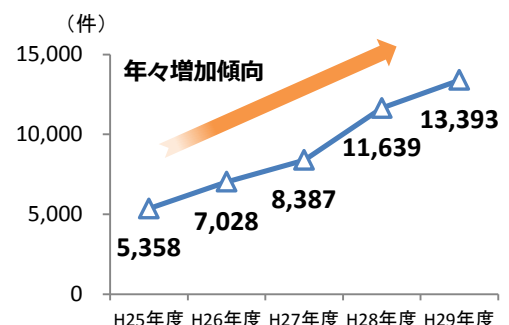


## 児童虐待防止対策の強化

児童相談所への児童虐待通告（連絡）数が増加する中、深刻な事態に速やかに対応するためには、警察との連携が欠かせません。

そこで、虐待が疑われる子どもの情報をより迅速に共有するため、全国に先駆けて児童相談所と警察署を直結する新たなシステムを構築します。

児童相談所における虐待通告受付件数の推移



## 2. 健康で安心して暮らせる社会づくり

### 健康長寿埼玉プロジェクト

誰もが毎日を健康で、生き生きと暮らすことができるようにするため「健康長寿埼玉プロジェクト」を推進しています。中でもウォーキングや特定健診の受診などでポイントが貯まる「埼玉県コバトン健康マイレージ」は、楽しみながら健康づくりができる埼玉県独自の取組です。

#### 埼玉県コバトン健康マイレージ

- ★ウォーキング
- ★特定健診の受診など

貯めたポイントに応じて  
抽選で賞品が当たる



※歩数計がスマートフォンで参加できます



歩数計をかざしてね

▶ 詳しくは、埼玉県のホームページをご覧ください

コバトン健康マイレージ

検索

#### ● 県民の健康寿命

※日常生活に制限のない期間の平均

男性 H25末: **71.39年** (全国21位)

H28末: **73.10年** (全国2位)

女性 H25末: **74.12年** (全国34位)

H28末: **74.67年** (全国29位)

### 在宅医療の推進

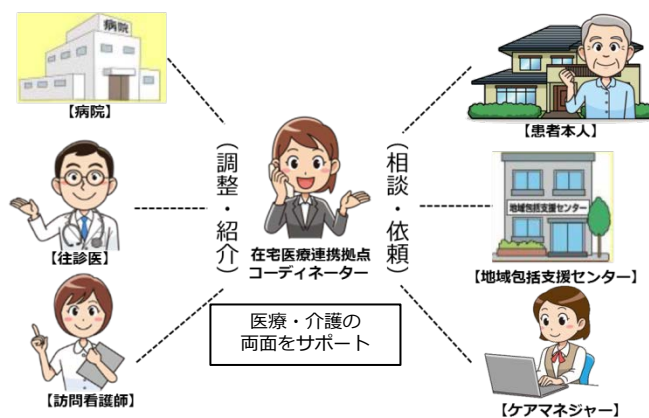
医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者が、住み慣れた自宅で安心して必要な医療を受けられるよう、在宅医療の体制づくりを推進しています。

【在宅医療連携拠点の役割】

#### 医療と介護のつなぎ役となる「在宅医療連携拠点」

医療と福祉の両面に精通した専門職を配置し、患者やご家族、ケアマネジャーなどからの相談対応や在宅医療を行う医師の紹介などを行っています。

⇒ 県内30地区に設置し、全県域をカバー



### 介護人材の確保・定着

急速な高齢化に対応するため、介護人材の確保・定着に取り組んでいます。

#### ○介護未経験者などの就労

介護施設での職場研修から、その後の就職まで支援します。

#### ○高齢者の就労

入門的研修と職場体験を通して介護助手としての就労を支援します。



職場研修を経て、現場で活躍する介護職員

# 3. 必要な医療を適切に受けられる体制づくり

## 医療を担う人材の確保

埼玉の医療を支える人材の育成・確保を進めています。

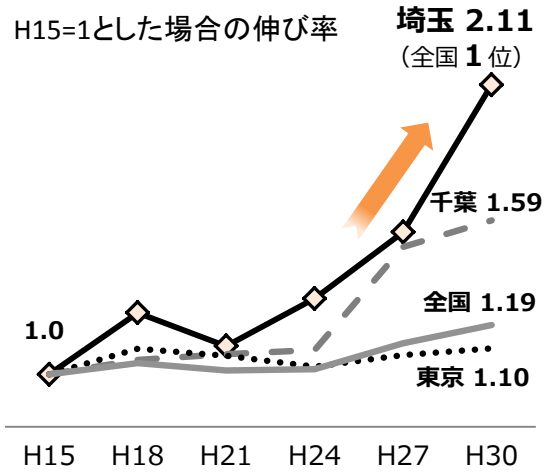
- ① 医学生への奨学金
- ② 奨学金や復職支援による看護師の育成・確保
- ③ 研修期間中の医師への研修資金貸与

● **医師の増加数、増加率** (平成26～28年)  
**609人** (全国3位)、**5.5%** (全国3位)

● **看護職員の増加数、増加率** (平成26～28年)  
**5,785人** (全国2位)、**9.9%** (全国1位)

● **臨床研修医の採用予定者数 348人**  
(平成30年全国8位、平成15年度からの伸び率全国1位)

臨床研修医採用予定者数の増加率の推移



## 救急電話相談の充実

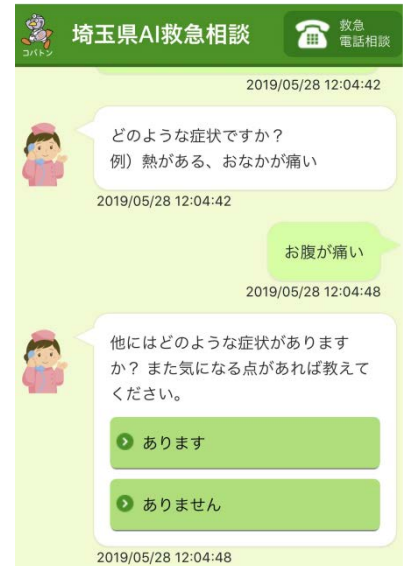
急な病気やけがの際の不安を解消するため、看護師が**24時間体制**で相談に応じています。また、必要に応じ医療機関をご案内しています。

さらに、より多くの相談に対応するため、人工知能(AI)を活用したチャット形式の救急相談自動応答システムを開発しています(2019年7月稼働開始予定)。

○ **埼玉県救急電話相談 #7119** (048-824-4199)

- ① 小児救急電話相談
- ② 大人の救急電話相談
- ③ 医療機関案内

● **小児救急電話相談件数 118,546件** (平成30年度(速報値))



AIを活用した救急相談(イメージ)

## 県立病院の診療体制の強化

脳卒中の救急患者や、心臓疾患などの合併症があるがん患者に高度で専門的な医療を提供するため、県立病院の診療体制を強化します。

- **循環器・呼吸器病センターに「脳神経センター」を設置**  
脳卒中の脳血管内治療の提供体制を整備
- **がんセンターに総合診療体制を整備**  
心臓疾患や糖尿病を併発するがん患者の受入体制を整備
- **小児医療センターでの臓器移植手術の実施**  
さいたま赤十字病院と連携し、県内初の小児生体肝移植を実施



循環器・呼吸器病センター(熊谷市)



がんセンター(伊奈町)

# 4. 安心・安全に暮らせる社会づくり

## 子供の居場所づくりと貧困の連鎖解消

日本では、7人に1人の子供が貧困状態にあると言われています。全ての子供たちがチャンスと希望を持って大人になれる社会を目指して、地域のみなさまと一緒に貧困の連鎖解消に向けた取組を進めています。

### ○地域で広がる子供の居場所づくり

「こども応援ネットワーク埼玉」を立ち上げ、284の会員のみなさまと子供の居場所づくりの取組を進めています。

なかでも「子ども食堂」は、子供たちへの無料・低額の食事の提供のほか、野菜の収穫や楽器の演奏など様々な体験を通じ心を育む場所として、地域の方や民間事業者などにより展開されています。



子ども食堂

### ○小学生から高校生までの切れ目ない支援

- ・生活困窮世帯などの小学生から高校生までを対象とした学習教室を設置し大学生ボランティアが学習を支援
- ・小学生には学習に加え、生活支援や体験活動等も実施



学習支援の様子

● 「子ども食堂」などの子供の居場所づくり **230か所** ⇒ **800か所へ**  
(平成31年2月末)

## 防犯対策の推進と捜査活動の強化

県民の主体的な防犯活動と警察の連携により、人口千人当たりの犯罪発生件数は減少傾向にあります。また、警察活動の基盤を強化するため、埼玉県は平成13年度以降、全国最多となる約2,900人の警察官を増員しています。

### 自主防犯活動団体「わがまち防犯隊」

本県は、地域で自主的に防犯パトロールや子どもの見守り活動などを行う自主防犯活動団体の数が、**全国最多(6,010団体)**です。(平成30年12月末時点)



「わがまち防犯隊」の防犯パトロール

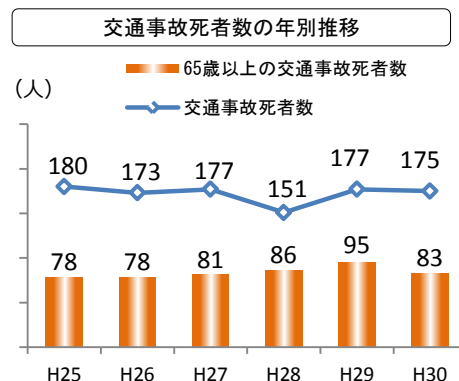
## 交通安全対策の推進

高齢者の交通事故死者数が多いことから、交通安全教育・広報を行うほか、高齢者が安心して通行できる道路交通環境の整備を進めています。

### 高齢者の運転免許証更新時の利便性向上

認知機能検査※、高齢者講習の受講日を自動的に指定するシステムを開発し、高齢者の負担となっている予約の手間や待ち日数の短縮を図ります。

※ 運転免許証更新時、満70歳以上の方は高齢者講習、75歳以上の方は認知機能検査の受講が義務付けられている。



# 5. 危機への備えや災害に強い地域づくり

## 体験型の防災学習施設「そなーえ」

埼玉県防災学習センター「そなーえ」（鴻巣市）では、地震や暴風などの災害のCGを使った疑似体験ができ、災害時の身の守り方や災害への備えを学べます。

### 「そなーえ」で体験できる災害学習

- 地震体験
- 煙体験
- 消火体験
- 暴風体験



地震体験装置のCG画像



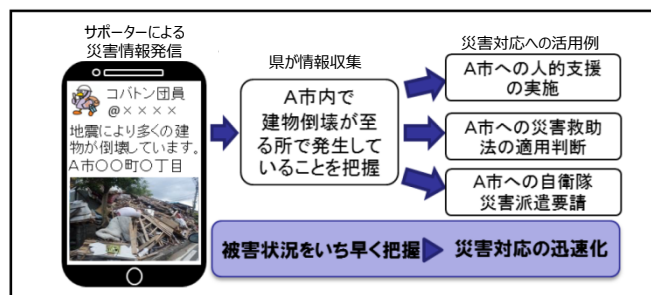
消火体験コーナー

## 災害に備えた取組の促進

大規模災害に備えるため、家庭で取り入れやすい備えをまとめた防災マニュアルブック「イツモ防災」の配布や啓発イベントを行っています。  
また、災害発生時に有用な情報をいち早く把握し、迅速に対応できるよう、SNS災害情報サポーターを確保・育成しています。



家具固定啓発ワークショップ



SNSによる災害情報活用の流れ

防災マニュアルブック

## 公共施設や多くの人々が利用する民間建築物の耐震化

大地震が発生したとき、防災拠点となる公共施設をはじめ、病院など多くの人々が利用する建物の耐震化を進めています。

- **防災拠点となる公共施設の耐震化率**  
**91.9% → 95.5%**  
(平成26年度末) (平成29年度末)
- **多数の者が利用する民間建築物※の耐震化率**  
※ 病院、映画館、百貨店、ホテル等  
**89.6% → 92.5%**  
(平成26年度末) (平成29年度末)



耐震補強を行った飯能合同庁舎

# 6. 子供たちの学力や自立する力を着実に育む教育

## 埼玉県独自の「学力・学習状況調査」

学力テストの結果だけでなく、一人一人の学力の伸びや学習意欲なども調査、分析する**全国初の調査**を実施しています。こうした取組は世界各国の参考になるものとして、OECD（経済協力開発機構）も高く評価しています。

**学力調査**

小4から中3まで毎年の調査結果を見比べることで「**学力の伸び**」がわかります。



**学習状況調査**

子供の学習意欲、規範意識、生活習慣等を調査します。



「**伸び**」が見えることで「**意欲**」が向上！

生活指導や家庭への働き掛けに活用！



### AIを活用した、よりきめ細やかな学習支援

県独自の「学力・学習状況調査」結果などのデータをAIを活用して分析し、子供一人一人の状況に応じた学習支援の実践研究を行います。

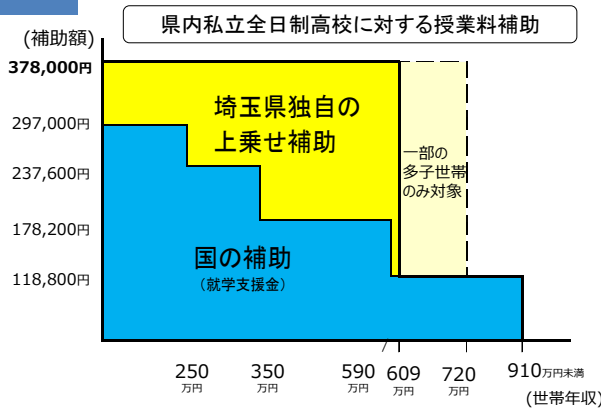


## 私立高校の教育費負担軽減

子供が県内の私立高校に通う世帯の負担を軽減するため、全国トップレベルの補助を行っています。  
⇒ 全日制高校の場合、年収約609万円未満世帯※は授業料を実質無償化

さらに、一部の多子世帯は、年収約720万円未満世帯まで対象を拡大

※ 年収は目安であり、実際は子供の扶養人数等を考慮しています。



## 県立高校のICT教育環境整備

生徒が自らICTを活用して新たな問題の発見・解決に取り組むため、タブレット端末の導入等のICT教育環境の整備を進めています。

⇒ 令和2年度までに全県立高等学校（139校）に導入



ICT機器を活用した授業

# 7. 高齢者や女性など多彩な人材が活躍できる社会づくり

## シニアの活躍支援

元気なシニアが「支えられる人」から「共に社会を担う人」として活躍できるように、「働きたい」「地域で活動したい」など、それぞれの希望に応じた支援を行っています。

### 働く

#### 現役からシニア 活躍への橋渡し

「シニアライフ案内土」の養成  
「シニア応援カード」の配布等

#### 企業における 「活躍の場」の拡大

シニア活躍推進宣言企業  
の認定

#### シニアの 就業支援

セカンドキャリアセンター  
やシルバー人材センター  
による支援

### 社会参加

#### 地域デビュー を支援

シニアボランティア  
の養成など

#### シニア活躍に 向けた広報戦略

「埼玉人生100年時代の  
楽しみ方研究所(WEB)」  
や「地域デビュー楽しみ隊」  
による広報活動



シニア応援カード

#### ■シニア応援カード

企業等を退職した方が仕事やボランティアなどの多様な場で活躍できるよう、退職後の国民健康保険への切替えの際に市町村役場で配布します。

※ 仕事やボランティアなどの相談窓口をコンパクトにまとめた名刺サイズのカード

### ● 県の支援による60歳以上の就業確認者数

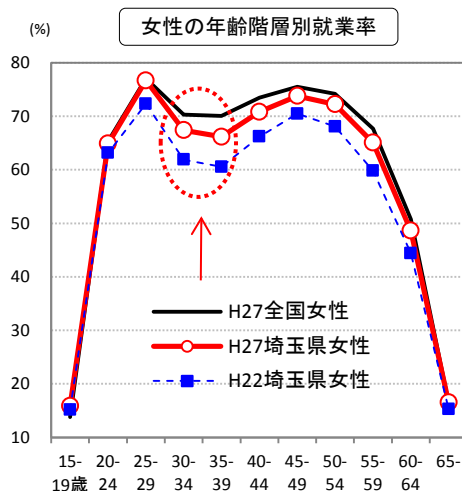
5, 360人 (H28.4~H31.3の累計)

## 女性の活躍推進

女性が夢を持っていきいきと活躍できるよう、**埼玉版ウーマノミクスプロジェクト**を推進しています。特に子育て世代の女性の就業率を高めるため、仕事と家庭の両立ができる環境づくりや女性の就業・起業を支援します。

### ● 30歳代女性の就業率の向上

61.1% ⇒ 66.7%  
(平成22年) (平成27年)

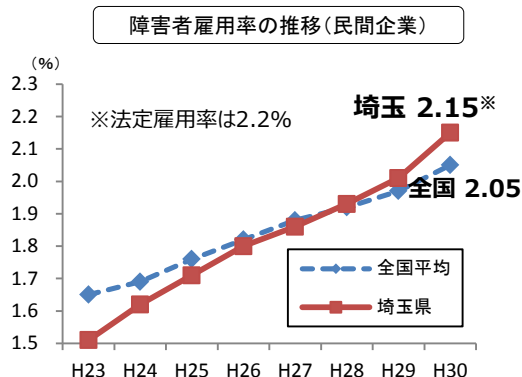


## 障害者の自立の支援

障害者が能力や適性に合った仕事に就き、長く働き続けられるよう、埼玉県障害者雇用総合サポートセンターを設置し、専任職員によるきめ細かい支援をします。

### ● 障害者雇用率（民間企業）の改善

1.51% ⇒ 2.15%  
(平成23年) (平成30年)



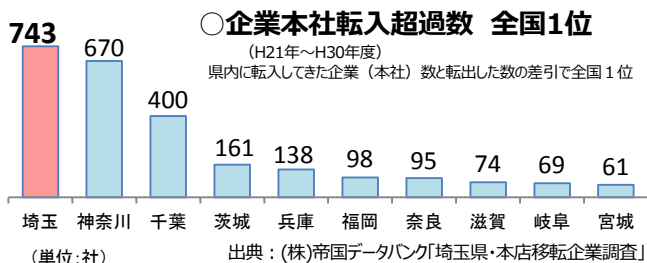


# 8. 埼玉の成長を生み出す産業の振興

## 企業誘致の推進

本県には、ものづくり、サービスなど多様な企業が集積しています。平成30年には外環道千葉県区間が開通し、東京湾岸道路に直結するなど、更に充実した交通網等をアピールして企業を呼び込み、雇用の場を増やして経済を活性化していきます。

また、鶴ヶ島市内の県公共施設跡地に先端産業や次世代産業を集積していきます。



### ○企業立地の実績

- ・立地件数 **1,054件**
  - ・投資額 **1兆6,975億円**  
(計画ベース)
  - ・新規雇用 **33,890人**  
(計画ベース)
- ※いずれもH17年1月～H31年3月末までの数値



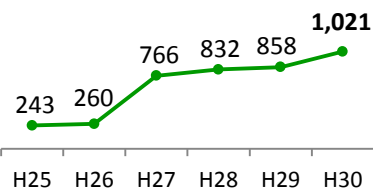
鶴ヶ島市内に建設予定の航空機部品工場イメージ図

## 中小企業の稼ぐ力の向上

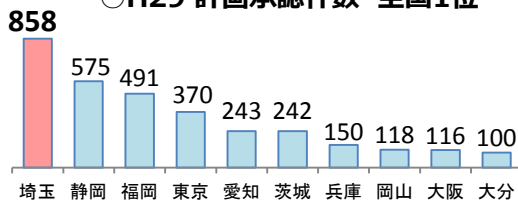
中小企業が新たな事業活動を通じて経営力の向上を図るための「経営革新計画※」の策定を支援しています。また、計画策定後のフォローアップも実施し、計画達成に取り組む中小企業の稼ぐ力の向上を目指します。

※ 中小企業等経営強化法に基づき策定する中期的（3～5年）経営計画です。計画には一定程度の経常利益の伸び率などを設定する必要があります。計画策定を通して現状の課題や目標が明確になるなどの効果が期待できるほか、計画承認後は様々な支援策の対象となります。

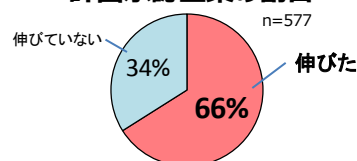
### ○本県の計画承認件数の推移



### ○H29 計画承認件数 全国1位



### ○経常利益率が伸びた計画承認企業の割合



※ H30年度調査企業（承認1年後調査による）

## 観光の振興

交通利便性の高い本県は日帰り観光客が多いのが特徴です。宿泊客を増やすため、川越や秩父などを周遊するルートをPRし、訪日外国人をはじめ観光客の増加を目指しています。

### 「SAITAMAプラチナルート」

県を代表する観光地の川越、秩父、長瀨を巡る観光ルート

※吹き出し内の人数は、H26年からH29年の観光客数の推移（県観光入込客パラメータ調査）

**秩父** ～ 日本三大曳山祭のひとつ『秩父夜祭』や芝桜～  
H26年:563万人 → H29年:578万人

**長瀨** ～ ライン下り、アウトドア、天然氷かき氷～  
H26年:242万人 → H29年:311万人

**川越** ～ 『小江戸』と呼ばれる蔵造りの町並み～  
H26年:658万人 → H29年:663万人



# 9. 埼玉の成長を生み出す農林業の成長支援

## 農業の担い手の確保

農業者の高齢化が進んでいるため、農業経営の大規模化や企業の参入を促進するとともに、熟練の技を継承するための先端技術の活用を進めています。

### ● 農業法人数

**452法人** (平成22年度末) ⇒ **1,052法人** (平成30年度末)

規模拡大による効率化や幅広い人材の採用などが期待できる「農業法人化」を促進しています。



農業法人経営支援セミナー

### ○ AIを活用した茶生産技術の開発

土壌・茶樹等のデータから、最適な肥培管理・茶葉の摘み取り時期等を解析

### ○ ドローンを活用した米麦栽培の省力化

ほ場内の生育状況をマップ化し、最適な栽培管理を実施



土壌の茶園環境センサー



茶葉の画像解析機器

## 県産農産物のブランド化とPR

本県で生産されている多彩な農産物を多くの人に知って、買って、食べていただけるよう、**県産農産物のブランド化やPR**に取り組んでいます。

### 埼玉ブランド農産物総選挙

ブランド化を進める農産物から県民イチオシのものを投票

**2018年の結果・・・**

**1位：深谷ねぎ 2位：狭山茶 3位：彩玉（梨）**



深谷ねぎ



狭山茶

### 海外市場への県産農産物の輸出

輸出品目として期待される「狭山茶」の輸出拡大を目指し、**EUで開催された日本文化を紹介するイベントに出展**するなど、県産農産物の市場拡大が見込まれるフランス等へプロモーションを行います。



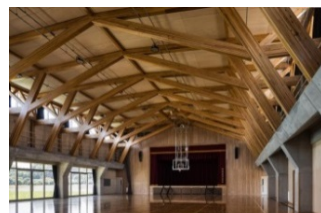
フランス開催のイベントへの出展

## 県産木材の利用拡大

公共施設などで県産木材の利用を推進し、森林の循環利用を進めています。



民間住宅での利用



埼玉県農業大学校での利用

# 10. 道路網の整備など埼玉の活力を高める社会基盤づくり

## 道路ネットワークの整備

圏央道の県内区間が開通し、空港や港湾などへのアクセスが一層スムーズになりました。こうした高速道路網から身近な道路まで計画的に整備を進めています。

### 圏央道全線開通の効果

周辺生活道路に流入していた交通量が減り、交通事故も大幅に減少しました。

周辺地域の渋滞発生時間

約12時間/1日 ⇒ 約7時間



圏央道開通で渋滞が解消（県道川越栗橋線）

### 春日部駅周辺の連続立体交差化

春日部駅周辺に集中する、いわゆる「開かずの踏切※」等による交通渋滞を解消するため、鉄道を高架化します。

※ピーク時に1時間当たり40分以上遮断する踏切



駅周辺の混雑



整備イメージ

## 便利で安全な公共交通網の充実

ホームドアやエレベーターを設置し、鉄道の安全性・利便性を高めます。

また、バス路線の維持・確保やノンステップバスの導入支援など、地域の公共交通の確保・充実に取り組んでいます。

### ● 駅ホームの転落防止設備整備率（1日利用者数1万人以上）

※ホームドア又は内方線付き点状ブロックの整備率

**61.8%** ⇒ **98.5%**

（平成27年度末）

（平成30年度末）

### ● バスの利用者数

**206百万人** ⇒ **225百万人**

（平成26年度）

（平成29年度）



ホームドア



内方線付き点状ブロック

## 活力を生み出す産業基盤の整備

交通利便性の高い地域に多くの企業を誘致するため、高速道路インターチェンジ周辺や県内主要幹線道路周辺に豊かな田園環境と調和した産業基盤の整備を進めています。

### 「エントリー＆オーダーメイド」方式の導入

団地の造成前に進出企業を募集し、企業のニーズに応じた区画割りを行う「エントリー＆オーダーメイド」方式を導入し、通常より短い期間で企業が操業できるように産業団地を整備しています。

### ● 新たに整備された産業基盤の面積（平成29年度～30年度実績）

**171ha** ※さいたまスーパーアリーナ38個分



圏央道川島IC北側地区の開発

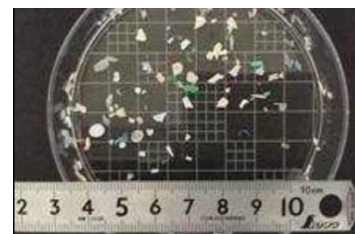
# 1.1. 環境にやさしく持続的発展が可能な社会づくり

## マイクロプラスチックの削減

河川や生態系への影響が危惧されているマイクロプラスチック※を削減するため、河川におけるプラスチックごみの実態把握や削減対策を進めます。

また、埼玉県の提案に基づき、首都圏の九つの都県市が共同して行う取組を検討しています。

※ 微細なプラスチックごみ（直径5ミリメートル以下）



マイクロプラスチック  
(写真：環境省)



河川のゴミを回収

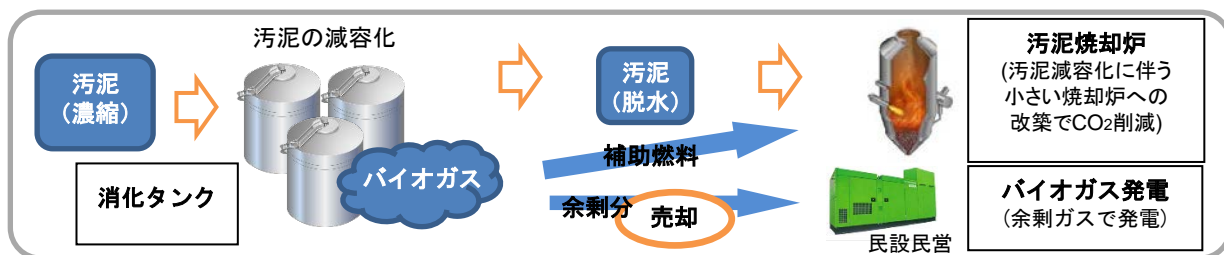
- 製造業者や消費者などの関係者が共同認識を持ち、それぞれの役割に沿った対策を講じるための協議会の設置
- 河川のプラスチックごみの回収、実態把握
- ごみを発生させている業種の特定、業界への対策実施要請

## 下水汚泥のバイオガスの利活用

元荒川水循環センター（桶川市）で下水汚泥からバイオガスを発生させ、焼却炉の補助燃料や発電に活用しています。

- 汚泥 ⇒ 約46%減量      燃料費 ⇒ 約1,200万円削減

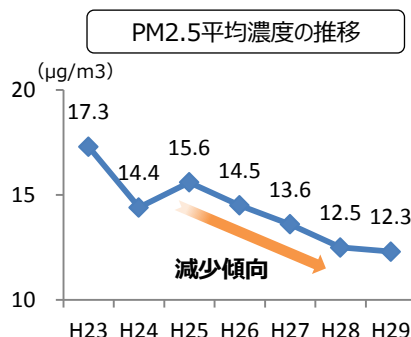
### バイオガス発電のイメージ



## PM2.5の監視、光化学スモッグの解明

ぜんそくなど人への影響が懸念されているPM2.5（微小粒子状物質）について、大気中の濃度を監視しています。

また、全国初となるドローン（無人航空機）を使った上空の調査により、光化学スモッグの発生メカニズムを解明していきます。



調査用ドローン

# 12. みどりと川の再生など自然と共生する社会づくり

## みどりの保全と再生

都市化により失われた森林を再生するため、平成20年度に、自動車税の一部を財源とする「彩の国みどりの基金」を創設しました。この基金を財源に、「森林の整備・保全」、「身近な緑の保全・創出」、「県民運動の展開」の3つの柱で、みどりの再生を進めています。

### 森林の整備・保全

手入れの行き届いていなかった水源地域の森林や里山・平地林を整備しています。

⇒ **11,409ha** (平成20年度から平成30年度までの累計)

### 身近な緑の保全・創出

都市部を中心に身近な緑を増やすため、小学校等の校庭の芝生化や、民間施設の壁面・屋上・駐車場の緑化などを進めています。

⇒ **515か所** (平成20年度から平成30年度までの累計)

### 県民運動の展開

みどりの保全や創出に関する事業を提案・実施する団体に対し、活動費用を助成するとともに、ボランティアの育成を行います。

⇒ **653団体** (平成20年度から平成30年度までの累計)



芝生化した校庭 (蓮田市)



熊谷スポーツ文化公園の木陰創出

## 川の再生

本県は県土に占める河川の面積の割合が全国一位です。川の水質改善と水辺空間の有効活用によりにぎわいを創出し、ゆとりと潤いにおおいに満ちた生活空間づくりを進めています。



人々が水に近づける水辺の拠点を**104か所**整備 (平成19年～)

水辺空間を楽しむ遊歩道を**150km**整備 (平成19年～)

### ● アユの棲める水質の河川の割合 (河川水質の改善)

**52%** (平成17年度) ⇒ **82%** (平成29年度)

## 人と動物の共生

犬や猫の適正飼育、野良猫の繁殖抑制や譲渡の推進により**殺処分数ゼロ**を目指しています。

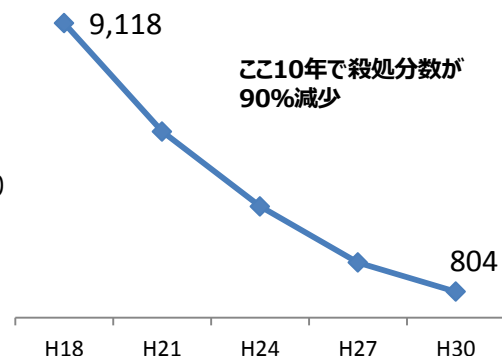


譲渡会

### 民間団体の協力による犬猫の譲渡の推進

新たな飼い主探しを行う動物愛護団体の協力により譲渡会を開催するなど、犬猫の譲渡を進めています。

犬・猫の殺処分数の推移(頭)









# 1 3. 県民が誇りを持てる埼玉の魅力づくり

## ラグビーワールドカップ2019™の開催

今年開催されるラグビーワールドカップ2019™の開催地の1つに**熊谷市**が選ばれています。県では、大会成功に向けて準備を進めています。

- 試合会場となる**熊谷ラグビー場の整備**
- 日本代表壮行試合**などのテストイベントの実施
- カウントダウンイベントなどの**気運醸成事業の実施**
- ボランティアや観客輸送等の**大会運営**

### 熊谷ラグビー場試合日程

9月24日 (火)	 ロシア	V	 サモア
9月29日 (日)	 ジョージア	V	 ウルグアイ
10月9日 (水)	 アルゼンチン	V	 アメリカ



熊谷ラグビー場



日本代表壮行試合  
(南アフリカ代表戦・2019年9月6日)



ボランティア (イメージ)

## オリンピック・パラリンピックの開催準備

東京2020オリンピック・パラリンピックでは、県内4会場で開催されるオリンピック4競技、パラリンピック1競技が行われます。県では、開催に向けた気運醸成を図るなど、大会に向けた準備を進めています。

- 1年前イベントなどの**気運醸成事業の実施**
- 都市ボランティアに対する**研修の実施**
- 埼玉県版ホームステイの**運営体制の整備**
- 事前合宿の受入・海外アスリートと県民との**交流の促進**

### 県内の競技会場



バスケットボール  
(さいたまスーパーアリーナ)



サッカー  
(埼玉スタジアム2002)



ゴルフ  
(霞ヶ関カントリー倶楽部)



射撃・パラリンピック射撃  
(陸上自衛隊朝霞訓練場)



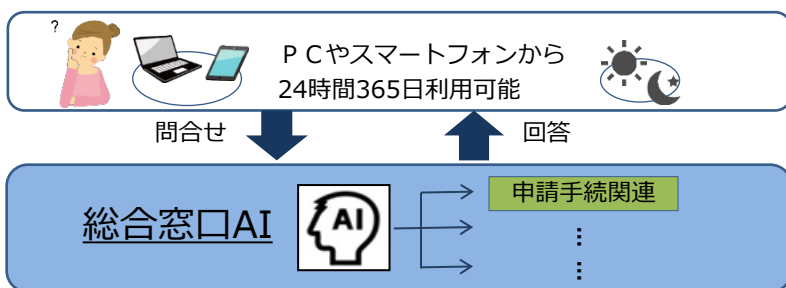
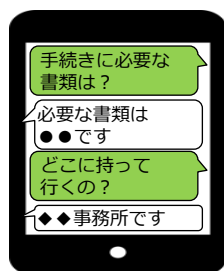
気運醸成イベント  
(昨年度の2年前イベントの様子)



埼玉県版ホームステイ

## AIを活用した県民サービスの利便性向上

県民の皆様からの問合せに時間や場所を問わずお答えできるよう、AIを活用し、**24時間365日**自動で回答するサービスを導入します。



# 14. 多様な文化を尊重し互いに支え合う地域社会づくり

## 移住の促進と地域活性化に取り組む市町村の支援

移住相談窓口の設置や、PR動画・パンフレットの作成による移住促進を行っています。また、地域間交流の促進による地域振興に取り組んでいます。

### 「住むなら埼玉」移住サポートセンター

移住の相談拠点を東京都内（有楽町）に設置し、専門の相談員が移住希望者のニーズにワンストップで対応しています。



住むなら埼玉移住サポートセンター



移住PRパンフレット

### 農山村部と都市部の交流

県内農山村部と都市部との交流や県内市町村と東京都区部との交流のきっかけとなる事業を支援しています。



## 外国人の生活支援

日本語の理解が十分でない外国人住民が安心して暮らせるよう、医療や教育、就労など様々な相談に母国語で対応する窓口の設置や、在住外国人の支援、交流を行うボランティアの育成を進めています。

### 外国人総合相談センター埼玉

生活相談をはじめ、入管制度や労働問題などの専門相談に9言語で対応しており、年間約5,600件の相談を受けています。



外国人案内ボランティア

### 埼玉県外国人住民意識調査

「埼玉県が暮らしやすい」※と答えた外国人の割合 **91.6%**

※「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」の合計

(平成30年度)

## 人権の尊重

県民誰もが互いの人権を尊重し、共に生きる社会の実現に向けて、人権教育や啓発活動を進めています。

### 県民講座の開催

女性、子ども、高齢者などの人権問題のほか、新たな人権課題である<sup>エルジービティー</sup>LGBT（性的少数者）の方々に対する理解を深めるため、LGBTの基礎的な知識を身につけ、配慮を学ぶ講座を開催しています。



LGBT県民講座